

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 植物培養細胞を公開します ●-----

実験植物開発室では、平成30年3月よりシロイヌナズナ培養細胞株 At tom (rpc00056) やタバコ培養細胞株 BY-TIPG (rpc00062) など、7系統の培養細胞の提供を開始します。培養細胞の扱い方、リソースの請求に関わる書類の作成他、皆様からの質問にも個別対応しております。どうぞお気軽にplant@brc.riken.jpまでお問い合わせください。

https://plant.rtc.riken.jp/resource/cell_line/cell_line_list.html

-----● GFPを含む種子、細胞、遺伝子リソースの寄託と提供について ●-----

GFPが導入されたリソースは利用価値が高い一方、研究者間でやりとりする際には知財権への対応が必要です。理研BRCでは、GE Healthcare社(GE社)のご厚意によって、GFP及びその変異体遺伝子が組み込まれたバイオリソースについて、大学及び国公立の研究機関(を含む)での非営利学術研究への提供を行っております。またGE社の定める条件をクリアした民間企業もご利用になれます。GFPを含むリソースの寄託も受け付けておりますので、ぜひご相談ください。

-----● SABRE2とABRANAの稼働を終了します ●-----

当センターでは、植物cDNAクローンをシロイヌナズナの遺伝子情報に連結したデータベース、SABRE2を運用してまいりました。しかし、シロイヌナズナの国際的な情報中核機関のTAIRが有償化されるなど、利用環境の変化に伴い今年度末をもって運用を終了することとなりました。またシロイヌナズナーハクサイ間のストレス関連遺伝子を連結したデータベース、ABRANAの運用も終了致します。当センターよりご提供する植物DNAリソースにつきましては、総合カタログデータベースより一括検索を可能にする予定です。引き続きのご利用をお待ちしております。

-----● センター名の変更について ●-----

新年度より理化学研究所の第4期中長期計画が始まります。これを機に当センターはバイオリソース研究センターに衣替えし、付加価値の高い先導的なリソース、技術、情報を利用者コミュニティに提供するため、バイオリソースに関わる開発力の向上を目指します。リソースの収集、保存、品質管理、提供への取り組みも強化して参りますので、引き続き皆様からのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

●-----●

❁*:. ' ° ❁ ° ' . : * : . 。 ❁ . : * : . ' ° ❁ 。 . : * : . . : * ❁

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❁*:. ' ° ❁ ° ' . : * : . 。 ❁ . : * : . ' ° ❁ 。 . : * : . . : * ❁